

令和4年度『草刈りフィールド・ラボ』 実証ほ場での日常管理の取組案内

「草刈りフィールド・ラボ」プロジェクトは、草刈りの最新技術を見て、聞いて、体験できるほ場をサブテーマとして、農村の維持保全活動で最も負担の大きい草刈り作業について、今後の草刈り作業人員の減少を踏まえ、草刈り作業の省力化技術の導入等を促進することを目的にしています。

今回の現地研修会のほかに実証ほ場を設置し、令和2年度から4か年の令和5年度まで日常管理による検証を実施しており、佐用町仁方地区では7つの実証項目の内、下記の6つの実証ほ場を設置し、地元の方々の協力をいただきながら、草刈り作業省力化等のための日常管理検証を行っています。

日常管理項目

① 傾斜用草刈機

隣り合う同一法面内で傾斜用草刈機及び刈払機(一般)の作業時間・回数及び草丈高さの比較測定等を実施。

② 高刈り

隣り合う同一法面内で刈払機(一般)の安定盤付け替えによる高刈りと一般草刈りでの草刈り回数比較を実施。

③ 足場設置

隣り合う同一法面内で足場未設置の箇所と設置箇所(足場設置間隔1.5~2.0m程度を想定)の刈払機(一般)での作業時間の比較を実施。

④ 抑草剤+刈払

隣り合う同一法面内で抑草剤散布箇所と未散布箇所での刈払い機(一般)草刈り回数比較を実施。

⑤ 草刈処分比較

日常管理等の方法は、隣り合う同一法面内で草刈り作業後の草刈処分(放置、野焼、撤去)3パターンについて草丈、影響の違い、作業時間等の比較を実施。

⑥ 慣行

日常管理等の方法は、隣り合う同一法面内で慣行草刈り作業の刈払条件(回数減、時期ずらし、慣行)3パターンについて草丈、影響の違い、作業時間等の比較を実施。

※もう一つの検証項目 グランドカバーについては淡路市の谷山ダム法面で実施。

①～⑥の検証項目については、現地研修会と同じく佐用町仁方地区のほ場をお借りして実施しています。

詳細は添付資料の「日常管理の取組ほ場案内」をご参考ください。



令和4年度『草刈りフィールド・ラボ』
日常管理の取組ほ場案内



(実証ほ場)
1 傾斜用草刈機
(トラクター装着式)
①トラクター装着式
②慣行

(実証ほ場)
6 慣行
①慣行
②回数減
③時期ずらし

(実証ほ場)
5 刈草処分比較
①処分
②野焼き
③放置

(実証ほ場)
4 抑草剤+刈払
①抑草剤散布+刈払
②慣行

(実証ほ場)
2 高刈り
①慣行
②高刈り

(実証ほ場)
3 足場設置
①慣行
②足場設置

至 鳥取

至 佐用